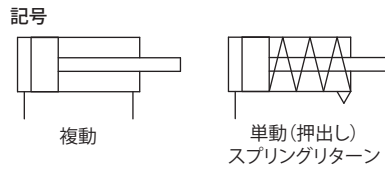


TKY バープ継手付超小型シリンダ

空気圧周辺機器
バープ継手付超小型シリンダ

- バープ継手付タイプ
- ボディ直接取り付け可能
- 単動・複動選択可能



形式番号

TKY - W - 6X4

①

②

①作動方式

O	単動押し出し
W	複動

②チューブ内径×ストローク(mm)

4.5X3	φ4.5×3	8X4	φ8×4
4.5X6	φ4.5×6	8X8	φ8×8
6X4	φ6×4	10X5	φ10×5
6X8	φ6×8	10X10	φ10×10

標準ストローク

チューブ内径 (mm)	標準ストローク (mm)
4.5	3, 6
6	4, 8
8	4, 8
10	5, 10

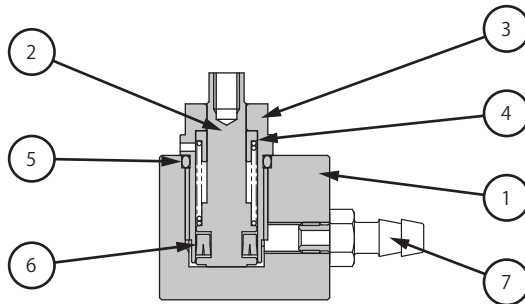
仕様

項目 \ チューブ内径	mm	φ 4.5	φ 6	φ 8	φ 10
作動方式		複動/単動押し出し			
使用流体		無給油圧縮空気			
保証耐圧力	MPa	0.9			
最高使用圧力	MPa	0.6			
最低使用圧力	MPa	0.2			
周囲温度および使用流体温度	°C	0~60(但し、凍結しないこと) ^{注1}			
クッション		なし			
ストローク長さの許容差	mm	0~+1.0			
使用ピストン速度	mm/s	50~750			

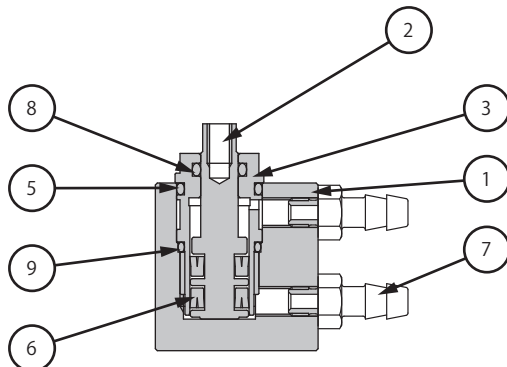
注1) 5°C以下で使用する場合は、ドレンが凍結する恐れがあります。エアドライヤを通した空気をご使用ください。

構造図

単動押し出し



複動



主要部品

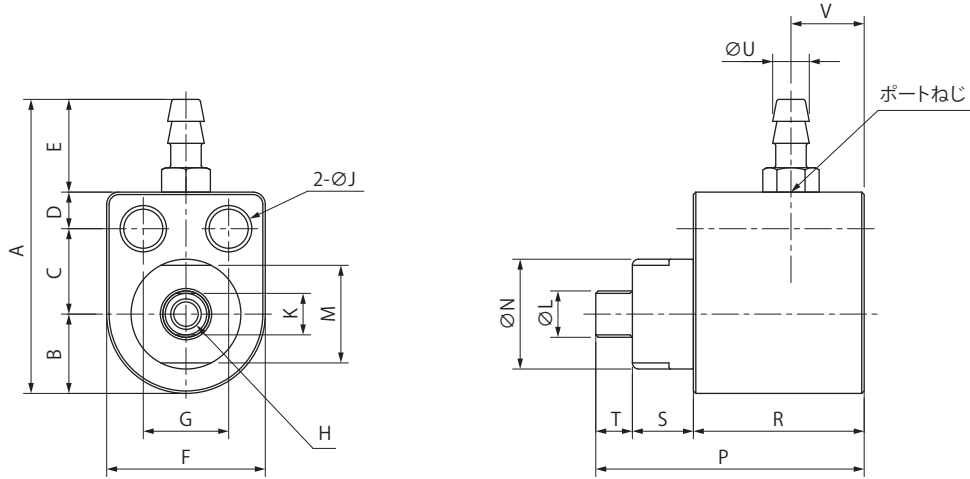
部番	部品名称	材質
1	本体	アルミニウム
2	ピストン	ステンレス鋼
3	ロッドカバー	黄銅
4	スプリング	ステンレス鋼
5	オリング	NBR
6	オリング	H-NBR
注1	ミニYパッキン	H-NBR
7	バープ継手	黄銅
8	オリング	H-NBR
9	オリング	NBR

注1) チューブ内径φ6以上はミニYパッキン仕様です。

外形寸法図

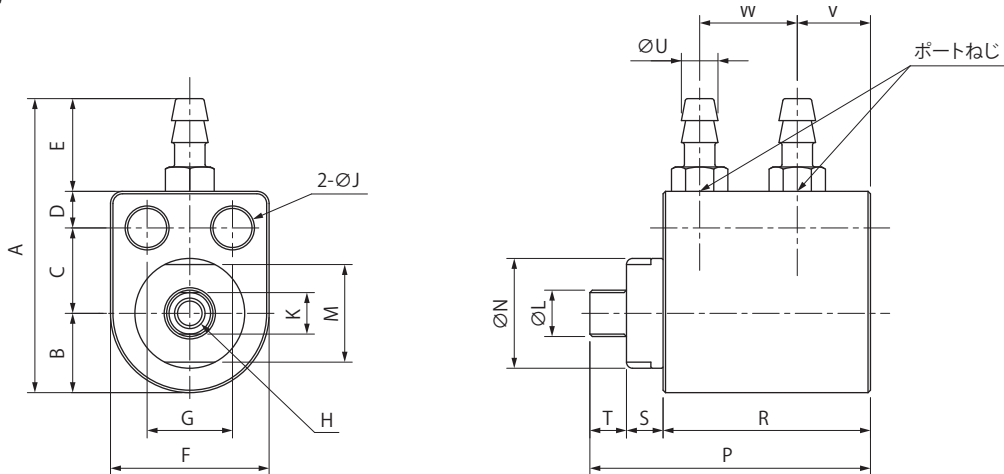
(mm)

パイプ継手付/単動押し
TKY-O



形式番号	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	R	S	T	U	V	ポートねじ	
TKY-O-4.5X3	21.6	5.5	6	2.5	7.6	11	6	M2×0.4 深さ 3.5	2.7	2.6	3	7	8	18	10	5	3	5	M2.5		
TKY-O-4.5X6						13	7	M2.5×0.45 深さ 4	3.2	3.4	3.8	8	9	22	14			6		5	6
TKY-O-6X4	24.1	6.5	7	3		16	10	M3×0.5 深さ 5		4.5	5.5	12	14	23	14						7
TKY-O-6X8					11	18	12			5	6	14	16	28	18	7					
TKY-O-8X4	31	8	9		11	18	12		5	6	14	16	31	22	8						
TKY-O-8X8				28				18													
TKY-O-10X5	32	9		29				29													
TKY-O-10X10																					

パイプ継手付/複動
TKY-W



形式番号	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	R	S	T	U	V	W	ポートねじ	
TKY-W-4.5X3	21.6	5.5	6	2.5	7.6	11	6	M2×0.4 深さ 3.5	2.7	2.6	3	7	8	20	14.6	2.4	3	3	5	6	M2.5	
TKY-W-4.5X6						13	7	M2.5×0.45 深さ 4	3.2	3.4	3.8	8	9	23	17	3			5	6		8
TKY-W-6X4	24.1	6.5	7	3		16	10	M3×0.5 深さ 5		4.5	5.5	12	14	27	21					4		5
TKY-W-6X8					11	18	12			5	6	14	16	28	23		8					
TKY-W-8X4	31	8	9		11	18	12		5	6	14	16	30	23	9							
TKY-W-8X8				29				22														
TKY-W-10X5	32	9		33				26														
TKY-W-10X10																						

継手・チューブ取扱注意事項

ご使用前に必ずお読みください。
また安全のためにおよび空気圧機器共通注意事項を参照ください。

設計時・選定時

警告

製品は仕様範囲で使用してください。

圧縮空気以外の流体、仕様範囲外の圧力温度での使用では破裂やチューブの抜け、漏れの原因になります。

屋外および直射日光を避けて設置してください。

ご使用にあたって

警告

チューブは継手のチューブエンドにあたるまで確実に挿入し、継手から抜けないことを確認してからご使用ください。

チューブの交換は必ず空気を止め残圧が無いことを確認してから実施してください。

取付・据付・調整時

注意

配管材料にポリアミド（ナイロン）チューブやポリウレタンチューブを使用する場合は下記に注意してください。

指定されたチューブをご使用ください。金属プラグはトラブルの原因となりますので、使用しないでください。

スパッタが飛散する雰囲気では、難燃性チューブ又は金属鋼管をご使用ください。

チューブは専用カッターで必ず直角に切断してご使用ください。

チューブが摩耗したり、傷がつかないようにして使用してください。チューブがつぶれると、破裂する恐れがあります。

一度使用したチューブは劣化・変形があるため再使用しないでください。

他の構造物と直接チューブが接触すると摩耗・破損の可能性があるため避けてください。

常時回転または揺動およびチューブの動きの激しい用途には使用を避けてください。

エルボタイプは設置時回転させての取付は可能ですが、常時回転または揺動には使用しないでください。継手部が破損する場合があります。

チューブは最小曲げ半径以内で急激に曲げないよう余裕をもってご使用ください。

チューブを接続するときは圧力によるチューブの長さの変化を考慮してください。また、チューブを曲げてご使用になるときは、最小曲げ半径以上に余裕をとってご使用ください。

配管接続が完了して圧縮空気を供給する場合、急激に高い圧力が掛からないように供給してください。

配管接続がはずれ、配管チューブが飛びはねて、事故が発生します。

配管接続の完了後、必ず配管接続部分の全ての部分の空気漏れを確認してください。

配管接続部分に漏洩検知液をはけで塗布して空気の漏れをチェックしてください。

配管接続部の結合部が装置の動き、振動、引張りなどによって離脱しないように配管してください。

空気圧回路の排気側配管の離脱によりアクチュエータの速度制御ができなくなります。

チューブは確実に差し込んだことを確認し、使用中は引っ張り力がかからないように使用してください。引っ張り力によりチューブの抜け及び破損の原因となります。

継手とチューブにねじり、引張り、モーメント荷重がかからないようにしてください。

圧力を加えたまま増し締めしないでください。

チューブが摩耗したり傷がつかないようにしてください。

チューブのつぶれ、破裂抜けが発生する恐れがあります。

チューブはチューブエンドまで確実に挿入し、チューブを引き抜けないことを確認してからご使用ください。

チューブのつぶれ、破損抜けが発生する恐れがあります。

チューブは専用カッターで必ず垂直に切断してご使用ください。

継手のねじ込み

継手の取付けはボディの六角面を使用し、適正なスパナで締め込んでください。

六角穴付メイルコネクタは継手内部の六角穴を使用し、六角レンチで締め込んでください。

締付けトルクは以下を参照ください。

ポートサイズ	締付けトルク (N・m)
M3	0.4 ~ 0.5
M5	1.0 ~ 1.5
R・Rc1/8	3 ~ 5
R・Rc1/4	6 ~ 8
R・Rc3/8	13 ~ 15
R・Rc1/2	16 ~ 18
R・Rc3/4	19 ~ 40
R・Rc 1	41 ~ 70

シール付継手について

注意

継手ねじ部にはシール材があらかじめ塗布されておりますので、シールテープの装着は不要です。

シールは通常 2 ~ 3 回の再使用が可能です。シール効果がなくなった場合は、シールテープを巻いてご使用ください。

着脱方法

注意

取付け時

取付けのチューブの切断面は直角に切断してください。切断にはチューブカッタをご使用ください。

ペンチ・はさみなどは使用しないでください。切断面が斜めになったり、つぶれたりして、接続できなったり、空気漏れの原因となります。

チューブをチューブエンドにあたるまで十分に押し込んでください。

取り外し時

リリースリングを指で押しながら、チューブを引き抜くだけでチューブが取り外しできます。